

“もりメイト倶楽部プロジェクト” 「森の学校 @ 安佐」

3月20日(日)ひろしま市民の里 @ 安佐

報告：3班 松崎 友輔



森がいかに大切か、森の働きについて学ぶ

= 自然観察(はる見つけ)&竹林整備&竹クラフト =

今回、森の学校に講師として参加させていただきました。

午前開校式をした後2つのグループに別れて周辺の木や草花の自然観察。その後3つのグループに別れて竹林の中に入り竹の伐倒を行い、午後からは午前中に自分たちで切った竹を使ってのクラフト作業、といった流れで進行していきました。午前中の自然観察や竹林での作業など、五感で感じながらの授業は子どもたちはもちろん

大人の方々も真剣な眼差しで講師の話を聞いておられました。午後からのクラフトでは参加者の方々がとても積極的に工作されており親子で意見を交わしたり講師と相談したりと試行錯誤して作品づくりに励まれておりとても活気のある時間となりました。こういった光景を見ていると今回の「森の学校」のように、体験しながら自然環境について学べる場があるというのはとても重要な事だと感じました。

また指導する側としての学びもあり、言葉や文字だけでなく実物や絵などを用いて説明することにより短時間の説明であっても受け手が理解しやすくなるということも学ぶことができました。

今後の活動に活かせるとても有意義な一日になりました。(当日は親子参加 32名、もりメイト倶楽部スタッフ7名)



竹林整備のようす。伐り方を指導する吉村さん



竹ポックリを作ったよ!



お父さんと一緒に竹を切る。右スタッフは松崎さん。

報告



環境教育研究部会

部会長 佐々木綾子

2022年になって初めてのカンケン部会は、もりメイトキッズのフィールドである大竹の松が原にて今年度のキッズをどの様に進めるかの方向性をみんなで考え、また、今まで中々手を付けられなかった場所の整備を行いました。

自然に関する環境の知識を学び、森に入って整備をし、そして森の資源(恵み)を使う中で人材を育て、ともに育ち合うという環境部会の思いを、今一度確認しながら、フィールドを散策しました。

午後からは、朽ちてしまった舞台の床の撤去や、壊れてしまった道中の床材の整備などを行いました。今後は月1回、松が原フィールドで手入れを行いながら、今年度のキッズの内容を充実させていきたいと思ひます。



フィールドを探索しながらもりメイトキッズのプログラムを考える



朽ちた舞台床撤去の様子

今年度も応援
頼みます!

